

左の船あり有  
二軍司令官に傳

の頼みて鎖鑰  
深く朕深く其  
前途猶ほ遠し

以て聯合艦隊可  
の困難を排斥  
しめ遂に大連

の趣皇后陛下  
將校下士卒  
の旨御沙汰あ

を以て第二軍及  
の趣皇后陛下  
將校下士卒

の旨御沙汰あ  
の趣皇后陛下  
將校下士卒

の旨御沙汰あ  
の趣皇后陛下  
將校下士卒

の旨御沙汰あ  
の趣皇后陛下  
將校下士卒

の旨御沙汰あ  
の趣皇后陛下  
將校下士卒

の旨御沙汰あ  
の趣皇后陛下  
將校下士卒

の旨御沙汰あ  
の趣皇后陛下  
將校下士卒

の旨御沙汰あ  
の趣皇后陛下  
將校下士卒

の旨御沙汰あ  
の趣皇后陛下  
將校下士卒

の旨御沙汰あ  
の趣皇后陛下  
將校下士卒

敵の迷路を開く  
我軍の旅順を攻むるや、敵の迷路を開きありし  
かば之に應りて陸路を逼せし敵兵多かりしと云ふ

梨本宮殿下  
皇朝十一月廿七日午前九時特報  
梨本宮殿下勅使として本日出發第二軍所在地に赴か  
せらるる儀、概なりしも都合ありて出立期日未定とな  
れり

弘前の戦捷祝宴  
弘前十一月廿六日午後特報  
只今(零時五十分)官民協同の戦捷祝宴會を開く

津の戦捷祝宴會  
津十一月二十七日午後特報  
本日戦捷祝宴會を開けり來會者は知事以下高等官縣  
會議員有志者等三千人に及べり

參宮鐵道會社重役の辭職  
津十一月二十七日  
參宮鐵道會社重役は明日の臨時總會に先ち柴田監査  
役を除くの外一同辭職せり

マダガスカー島の封港  
巴里十一月八日  
マダガスカー島の封港は直に始めらる可く戦役は來  
春まで起らざる可し (東京新聞)

### 時事新報 支那人容易に信ず 可らず

聞く所によれば天津稅務司デトリング外清國人數名  
が獨逸汽船に搭し使者として來り何か構和に關する書  
を持参したりといふ支那が連戰連敗の今日洵に左る事  
もあらざれば其使命は果して北京政府よりの降参  
書を呈するものか或は李鴻章よりの私書を取次ぐもの  
か未だ明白ならず若しも單に李の使命とすれば既に前  
日も獨逸人シュルツベルグが同様の來意を齎したる  
もとありて更に對手とするに足らざるのみか今や戰  
争も大に進みて支那隨一の要害と顧みたる渤海灣の咽  
喉を扼せられ其帝都の運命まさに旦夕に迫るの折柄一  
老爺たる李鴻章が漠然内顧を申込む杯とは馬鹿氣切  
つたる沙汰にして共に語るに足らず其使者の如き宜し  
く門前拂となす可きのみ若し又假りに北京政府の使者  
なりとせんか其降参を乞ふの條件如何は未だ知る可らざ  
る上に好し償金を拂はんと云ひ土地を割譲せんと云ふ  
にもせよ我政府は之に對して容易に喋々相談せざらん  
と我輩の希望する所なり蓋し今の文明諸國にては戰  
争に際し種々の策略を用ひ實々變化極りなしと雖  
も一旦構和又は休戰等の約束をなすに當りては交戦相  
敵する中にも自から約束に對するの信義を守りて決し  
て違ふことなしと雖も支那人は則ち然らず恰も此等の  
約束を以て戰術の一端と心得るの常なり先年英佛同盟  
軍が彼國を征伐したる際にも其實例を示したるの  
みならず近くは過般豐嶋の海戰にも彼の軍艦遠く對  
窮して白旗を掲げながら少しく間隙を得るに及んで忽  
ち脱走したるが如き又平壤の役にも白旗を樹て降参  
を乞ひつゝ夜に乗じて潛に奔竄したる等前左應々とし  
て其約束を守るに信なきは實に彼等の特性なり降参と  
云ふも決して聽くに足らざるものとせば彼がいよく  
恐縮したらば口頭文書を以てせしめて須らく吾に與  
ふるに充分の保證を以てせざる可らず我も亦有らん限  
りの保證を押しさるよりは一歩も進軍を駐めず一時も  
猶豫を興ふ可きにあらず我輩の特に注意を望む所以な

### 雜報

#### 敕任辭令

陸軍歩兵大佐 大久保利貞  
陸軍中將 橋本 達石  
陸軍少將 名和 長實  
陸軍工兵中將 大谷 深造  
陸軍工兵少將 神保 小虎  
陸軍工兵少將 松井安三郎  
陸軍工兵少將 海野 勝典  
陸軍工兵少將 中尾 嘉清  
陸軍工兵少將 阿多 實俊  
陸軍工兵少將 橋本 達石  
陸軍工兵少將 名和 長實  
陸軍工兵少將 大谷 深造  
陸軍工兵少將 神保 小虎  
陸軍工兵少將 松井安三郎  
陸軍工兵少將 海野 勝典  
陸軍工兵少將 中尾 嘉清  
陸軍工兵少將 阿多 實俊

#### デトリング氏の使命

倫敦電報が過般豐嶋したる天津稅務司デトリング氏は  
彌よ一昨日午後一時過ぎ獨逸船旗を掲げたる招商局汽  
船「ユー」にて神戸港に來着し李鴻章伯が伊藤伯に宛  
てたる手書を出して伊藤伯に面會を請ひたりと云ふ李  
伯の手書は兩國の談判に於ては一人の書面と見做す  
に過ぎざれば此書面あるが爲め伊藤總理大臣がデトリ  
ングに面會して構和の談判を爲すべくもあらざり元來デ  
トリング氏は如何なる資格を具へて來りたるか其邊未  
だ詳かならず北京政府の立派なる全權委任狀を携へ構  
和の事に付ては談判上全權を帯び居るものに非ざれば  
我が當局者が之と會して事を謀るの必要なし神戸通信  
者の電報に國書を携帶せりとの説を傳へたるも素より  
確報には非ず今日まで達したる報道にては我が當局者  
が談判すべき資格ありとの事は覺束なきが如しと云へ

#### 購和談判の國書

電報欄内に見ゆる如く天津稅務司デトリング氏は我が  
當局者と構和の談判を開く爲め國書を携帶して渡來せ  
りとの説あれども北京政府の統一決して構和談判の使  
節に必要な全權をデトリング氏に委任したるものと事  
實如何あるべき歟後報に接するに非ざれば國書を携へ  
たるや否やも疑はし

#### 米公使の廣嶋行

米公使ダン氏は本日東京を  
發して廣嶋に赴き清國の和議を取次ぐ勢を取るべしと  
の噂されども米國公使館に就きて聞かせば公使は廣  
嶋に出張する事なしと云へり

#### 清帝の公使謁見

清國皇帝が是迄各國公使に  
謁見を賜ふには紫光閣に於てせしが元と紫光閣なるも  
のは屬邦の朝貢使を引見するに用ひたる場所なるより  
公使等は其威嚴を損するの恐ありとて久しく苦情を鳴  
らし居たるも頑迷なる清廷の事とて容易に列國公使を  
遇するの道を悟らず在舊今日に至りしに日清開戦以來  
外國の輕んずべからざるものと又其歡心も失ふの不利  
なるを知りたるものと見へ去る十二日始めて本殿に於  
て佛露兩公使等に謁見を許したり其模様を記さんには兩  
公使は當時北京駐在の諸公使と共に東安門に入り二人  
の總理衙門書記官の案内にて諸大臣の集會せる一官衙  
に至り是れより一名の親王に隨ひ長廊下を渡り本殿に  
進みしに皇帝は五段をなせる堂上の椅子に倚り前面に  
黃布を掛けたる机を控へ青ざめたる顔に眼をキョロ付

かせ一同を打ち眺め變て各公使より奏上する  
と通譯官支那語に譯し恭親王更に之を滿州語  
り蓋し清國皇帝は全く支那語を解せざるに  
清廷の虛禮として儀式的の際には特に滿州語を  
習慣なればなり御座の後に孔雀の羽を以て飾  
なる網製窓簾様のものあり皇太后は其後に  
の模様を窺ひ殿後には一隊の兵士を伏せ眞一  
たりと云ふ

#### 合衆國の總撰舉

は本月六日を以て  
行ひたり(但しメイン オレゴン ヴァルモン  
ては其前既に之を行ひ例の如く三州合せて  
ブライカン黨議員を出せり)此度の撰舉はレ  
黨の大勝利に歸し同黨議員の總數三百五十七  
パブリカン黨二百卅九名デモクラチック黨  
ヒュリスト黨六名獨立黨一名なり即ち此前の  
してレパブリカン黨は百十三名を増しデモ  
黨は百九名を減じたる譯なり各州の中にて知  
けるレパブリカン黨の勝利は最も著しく前  
はデモクラチック黨二十名レパブリカン黨  
し處、此度はレパブリカン黨三十名にしてデ  
ク黨は僅に四名なり此撰舉の結果を見て  
ク黨議員は何れも頗る落胆の模様あるに  
黨の悦は非常にして明後年の大統領撰舉  
リカン黨の勝利疑なしと言ひ合へるよし米  
信に見えたり

#### 大陸諸國の動靜

日清戦争に對す  
の動靜を知らん爲め十月十二日發見倫敦  
プレス所載の一項を左に掲ぐ  
佛國 一等巡洋艦「イヌリ」及び「アルガー」二  
ユゲイトロアン砲艦「ルタン」の四艘は支那  
の命を受けた外に巡洋艦三艘砲艦一艘も  
して命を待つべき旨政府はプレスト軍港へ  
甲鐵艦トリオンフロント及び砲艦「シ」は  
中なるが巡洋艦「ト」も同所へ  
據なり半官報の云ふ所に據れば佛國政府が  
前記四艘を増したるは日清戦争の爲めのみ  
是よりして他に事情の起るゝとあるべきを  
爲めなりと云ふ

露國の動靜に付て紐育「ラルド」へ達した  
るに日清間の戦争今の儘に進んで他に何事  
に其一方より和を請ふに至れば同國は終如  
だ和議の時自國の利害に妨げなき様注意す  
鮮は何處までも獨立の實を失はしめず勝  
他の方角に於て賠償を得んことを主張する  
べけれども若し他の事を生じて例へば支那  
か若くは滿朝の亡ぶるが如きとあれば西  
安事を害するが故に黙視する能はざるのみ  
を未發に防ぎ大事を小事にて防がん爲め  
待たずして直ちに之に對する所置を施さ  
るが如し露國新聞紙は既に是等のことを論  
り深入して遂に同國の干渉せざるべから  
らしめざらんことを警告せり目下クローン  
て修繕中なる甲鐵艦巡洋艦「ウラヂェル」モ  
百五十噸)及び「スル」艦「ロ」(千三  
成るべく速に航海に適するやう修繕を急  
を受けたり又ニコラス一世及び「バ」ア  
兩巡洋艦は地中海より近々出立する筈なり

#### 加藤特命全權公使

今度英國  
られたる特命全權公使加藤高明氏は赴任  
且つ他の公用も有り昨夜の談判も大

何なるものか其素性を確かめたる上にあらざれば容  
易に信を置くべからず察するに我が政府にては支那  
政府當局者が直接に和議を申し込むにあらざれば是等  
曖昧なる外人を對手に談判を開くべし決局彼れ  
は黃島に來るを待たずして